

5.5 「創価学会後継者の日」

1枚目／未来部の結成（5枚目の絵の裏に貼る）

未来部は、池田先生が創価学会 第三代会長に 就任後、最初に結成した組織です。

1964年（昭和39年）6月、未来部結成の 第一歩として「高等部」が結成されました。

翌65年（同40年）1月、「中等部」が結成。同年9月に「少年部」が結成されました。

結成 当時の 想いを、池田先生は 後にこう 記しています。

「私は、21世紀のことを 真剣に 考えている。その 時に、誰が 広宣流布を、世界の 平和を 担っていくのか。誰が 21世紀に、本当の 学会精神を 伝えていくのか。それは、今の未来部のメンバーに 頼むしかない」

2枚目／師匠が“手づくり”で育成（1枚目の絵の裏に貼る）

高等部が 結成されると、池田先生は 夏期講習会や、毎月の 御書講義、人材グループの結成など 様々な 提案 を 行い、自ら 出席しました。

また 時には、スポーツ 大会、定時制高校に 通うメンバーとの 会食を 通し、創価の 後継者育成に 全力 を 注いだのです。

池田先生からの 激励を 胸に、それぞれの 使命の 道を 歩んだ 当時のメンバーは今、経済界、教育界など、世界中の様々な 分野で 活躍しています。

3枚目／創価学会後継者の日（2枚目の絵の裏に貼る）

1976年（昭和51年）5月5日、関西戸田記念講堂で行われた未来部の 記念勤行会の 席上、5月5日の「こどもの日」を「創価学会後継者の日」とすることが 発表されました。

池田先生は、「後継」への 思いをこう 綴っています。

「私は 毎年やってくるこの日を、いつも 全力で 迎える。創価学会にとって『後継者の日』は、5月3日の『創価学会の日』につづく 重要な日である。一切の 建設は『人』で 決まる。『人』といっても、若い世代に 託す 以外にないからである」

4 枚目／青春対話・希望対話 (3枚目の絵の裏に貼る)

「私も全力をあげます。本当のことを若い世代に語っておきたい。語り残しておきたい」との池田先生の想いから、1996年、『青春対話——21世紀の主演に語る』の連載が開始されました。単行本はこれまでに10以上の言語に翻訳され、世界中の未来部一人一人に勇気と希望を与えています。

また、2000年には『青春対話』の中等部版である『希望対話』もスタートし、大反響を呼びました。

池田先生は、青春対話の中で語っています。

「どんな悩みがあっても、それをバネにし、じっと我慢し、こらえて、『今に見ろ』と自分を励まして進むのです。行くべき自分の軌道を、黙々と、忍耐強く進んでいくのです。

君が『太陽』なのです。あなたが『太陽』なのです。まず、そう決めることです。

自分が太陽である限り、今どんな悩みがあろうとも、『朝』がこないわけがない。『快晴』の日はこないわけがない。『春』がこないわけがないのです」

5枚目／未来部への指針・先生のご指導（4枚目の絵の裏に貼る）

池田先生は、ある時は本部幹部会の席上で、またある時は、海外からのお客様を歓迎する場面で、「真の親孝行を頼みます！」と未来部に直接声をかけ、一人一人を励まし続けているのです。

未来部のメンバーは、一人一人が「未来部7つの指針」

- ①健康でいこう
- ②本を読もう
- ③常識を忘れないでいこう
- ④決して焦らないでいこう
- ⑤友人をたくさんつくろう
- ⑥まず自らが福運をつけよう
- ⑦親孝行しよう

の実践に挑戦していきましょう。

また、四者一体となって、学会の宝である未来部の育成に全力で励み、師匠・池田先生にお応えして参りましょう。

決意など